



「安心・安全のオリンピック」とは？水際・コロナ対策を総点検！



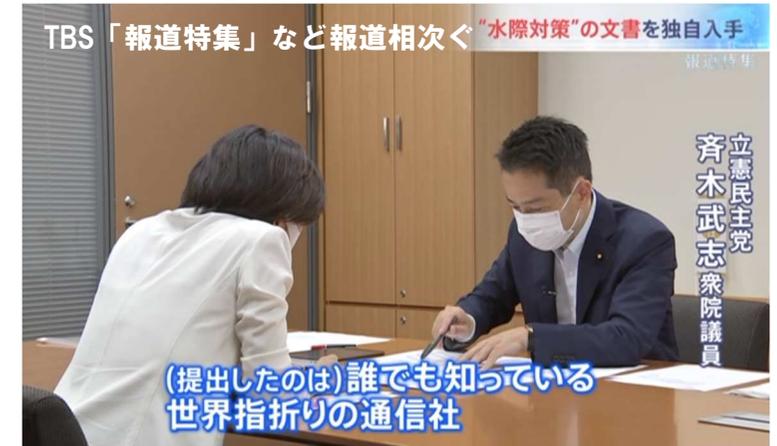
決算行政監視委員会で丸川大臣と質疑

オリンピック入国者の増加で**新たな変異株**が持ち込まれ、全国に広がらないか。感染拡大を懸念する方が福井でも増えています。オリンピックの**入国審査・水際対策に穴がないか**関係者に取材し質疑で取り上げたところ、テレビ・新聞で連日大きな反響を呼びました。

取材してまず驚いたのが、選手・IOC 役員・報道関係者など 10 万人に及ぶ五輪関係者が、**誰でも隔離なしですぐ入国**できてしまう実態です。五輪入国者は事前に**活動計画書**を提出する必要がありますが、そこで①14 日隔離②3 日隔離③空港到着後すぐに活動、の選択肢を選べるようになっています。そして③空港到着後すぐに活動を選ぶ場合には、**こう理由を書いてください**という**模範例文**も、活動計画書と一緒に送られていたことがわかりました。テスト用紙と模範解答と一緒に配られれば、誰でもその模範解答を書き写します。実際組織委員会に提出された活動計画書は、**模範例文をそのままコピーして③空港到着後すぐに活動を申請してきた団体が大半**でした。日本人が入国する場合、指定施設での 14 日隔離が義務となっている一方で、オリンピック入国者への隔離がほぼ免除されている実態が明らかとなり反響を呼びました。



さらに**入国後の行動も自由**です。菅総理は「オリンピック関係者と日本人の動線は完全に分離する。接触する機会は作らせない」と繰り返し表明してきました。しかし入国者が守るべき行動規範（プレイブック）の最新版では、「**個室のあるレストランであれば利用して構わない**」「**コンビニに弁当を買いに行っても良い**」と記載されています。個室でも**店の従業員**は注文取りや料理出しのため**何度も入室**しなければなりません。また**トイレや廊下などは他の日本人客と共用**であり、完全に動線が重なってしまいます。マスクを外すため**最も注意が必要な飲食の場でも、感染防止策が機能していない**実態が明らかになりました。



TBS「報道特集」など報道相次ぐ「水際対策」の文書を独自入手

立憲民主党 斉木武志衆議院議員

(提出したのは)誰でも知っている 世界指折りの通信社

水際対策と感染拡大防止は、政府がこの 2 年間失敗を重ねてきた課題です。中国・武漢で最初の感染爆発が起きた際も国境を封鎖せず、イギリス株やインド株が世界で流行を始めた時も入国禁止措置を強化せずに国内での蔓延を招いてしまいました。**同じ失敗をオリンピックでも繰り返すわけにはいきません。**

私は **2022・来年開催が妥当な判断**だと菅総理や丸川大臣に国会で繰り返し申し上げてきました。来夏であれば日本でも世界でも大半の人がワクチン接種を済ませているので、**感染リスクが大幅に下がります**。経済面でも、ワクチン接種と隔離を済ませた観光客限定なら受け入れることができ、**1 兆円以上の経済効果**が期待できます。感染対策に多額の予算を使った上変異ウイルスの蔓延を危惧しなければならない今夏の開催と比べ、どちらが国益にかなうかは明らかです。それでも総選挙前の開催にこだわって政府が強行するのであれば、日本が同じ過ちを繰り返さないよう、**新型コロナ対策の穴を可能な限り見つけ出し、ふさいでいきます。**



THE PLAYBOOK
OLYMPIC AND
PARALYMPIC
FAMILY

Your guide to a safe
and successful Games



June 2021
Version 3

五輪入国者行動規範は街中での飲食を許可

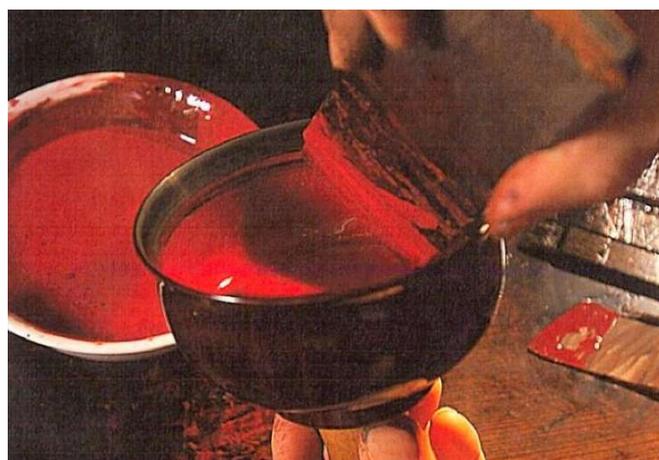
漆の抗ウイルス効果を証明し、製品表示を目指す国の協議会を立ち上げ！



鯖江市河和田 うるしの里会館



6月11日 経済産業委員会



若狭塗箸

越前漆器や若狭塗箸など、漆を使った製品の抗ウイルス性能を立証し、製品に表示することで売り上げ伸ばそうという国主導の取り組みが始まります。丹南・嶺南地域には漆を使った伝統産業が根付いていますが、新型コロナの影響で旅館やホテル、飲食業の売り上げが落ち込む中、使われる食器や箸の売れ行きも大きく影響を受けています。

そうした中、小浜市にある若狭塗箸の企業が神奈川県産業技術総合研究所に依頼して漆の抗ウイルス性能を検証したところ、**24時間で99.996%のウイルスを死滅**させるという高い効果が立証されました。しかし漆に含まれる何の成分が効果を発揮しているのか特定するまでには至らなかったため、SIAAという抗ウイルス性を示すマークを製品に表示することは認められませんでした。

そこで、地方中小企業のお金に依存せず、**国が費用を負担して漆に含まれる抗ウイルス物資を特定**し、様々な製品に表示できるよう取り組むべきではないかと経済産業委員会で提案。今月から国が100%お金を出し、越前漆器組合長をトップとして研究機関や認証団体と協議会を立ち上げ、抗ウイルス物質の特定と製品表示を目指していくことに決まりました。

福井以外でも、輪島塗や京塗、山梨・印伝の革小物から仏壇仏具に至るまで、**日本には漆を使った様々な伝産品**が息づいています。海外展開も視野に抗ウイルス性をアピールし、**多様な漆製品の売り上げ増加**を実現していきます。

ウイルスを用いた抗ウイルス性能評価試験

地方独立行政法人
神奈川県立産業技術総合研究所 溝の口支所
〒213-0012
神奈川県川崎市高津区坂戸三丁目2番1号 KSP西棟6階

◎抗ウイルス性試験の結果

抗ウイルス試験 (インフルエンザウイルス)	ウイルスの感染価 (pfu/cm ²) *	
	25℃、24時間	ウイルスの減少率 (参考値) ※
生漆	2.5E+02	99.996%
生漆+梨地	2.5E+02	99.996%
ウレタン樹脂	6.3E+05	88.8%



齊木武志プロフィール

1974年 5月13日生まれ
1997年 東京大学法学部政治学科 卒業
同年 NHK入局(アナウンサー)
2009年 第45回衆議院選挙当選
2017年 第48回衆議院選挙当選(2期)
役職 党福井県連代表
国会対策副委員長
衆議院経済産業委員会理事



居住地 越前市本保町 最新情報はホームページ saikitakeshi.jp 新装オープン!
家族 妻、子供3人、犬3匹